



水産情報速報版

H29. 1. 6. No1355
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

迎春 本年もよろしくお祝い致します

1. 年頭のご挨拶 静岡県漁業協同組合連合会 代表理事会長 荒川 邦夫

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、県下漁協の組合員並びに JF グループの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、熊本や鳥取で相次いだ地震災害に加えて夏の天候不順等も重なり、国内の景気が停滞しましたが、雇用の回復と輸出持ち直しの動きの中、米国の大統領選を受けたトランプ効果により円安と株高が進むなどして、緩やかながら経済の持ち直しに期待が高まりました。

一方、県下の漁業界を振り返ると、沿岸漁業を代表するシラス船曳網漁業では、暖水波及もあり春先と秋の良好な漁模様に支えられたほか、うなぎの養殖も種苗の池入れを一定量満たすなど一部の漁業で良い面が見られましたが、その他の漁業では天候不順による操業日数の減少や海況変化により不安定な生産動向となりました。

こうした状況の中、本会指導事業では重点課題である漁協系統組織における再編強化の諸活動をはじめ、漁協の中核を担う職員の資質養成を図る各種研修を実施するほか、JF グループ挙げて取り組む「浜の活力広域再生プラン」のもと漁業者自らが構造改革を実践する漁船リース事業に、28年度は本会自身がリース事業体となって全面支援するとともに、機器導入事業など競争力を高める緊急事業実施にも積極的に取り組みました。加えて、水産施策や予算要望活動、燃油・配合飼料の高騰に備える漁業経営セーフティネット構築事業、資源管理・収入安定対策事業など、漁業者の経営安定に役立つ国の補助事業にも継続して対応してまいりました。

一方、本会経済事業の要となる石油購買事業は、価格競争や陸上の燃転による需要の減退もあり、依然として厳しい環境ながら給油船や出荷施設の効率的な運用に努めるとともに、販売事業においても取扱商品の企画提案や開発に注力することで概ね順調に推移をしていますが、二枚貝集出荷関係では、浜名湖あさりの漁獲量が台風の影響により大幅に減少しており、資源量に不透明さを抱えながらその対応策を模索する展開となっています。

また、県の委託を受ける温水利用委託事業は、温排水停止に対応設置された設備を活用し、限られた環境の中で生産業務に支障が無いよう調整・管理を続けており、県沿岸漁業の振興発展の期待に応えるため、種苗生産業務の課題克服を含め万全を期してまいります。

以上、新年を迎えて所感の一端を申し上げますが、今後も漁協系統発展のためには、会員漁協や組合員、更には県域の各水産団体組織の一層のご支援、ご協力が必要不可欠となります。どうか引き続き、本会事業の推進にご理解を賜りますようお願い申し上げます。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

結びに、今年の十二支である「酉（とり）」には、果実が成熟するという意味があるそうです。本年も皆様にとって何事も大成する良い年となるよう、本県漁業並びに JF グループの益々の発展を祈念してご挨拶と致します。

2. 第22回静岡県青年・女性漁業者交流大会

県と県漁連は、12月7日、静岡県男女共同参画センターあざれあに於いて第22回青年・女性漁業者交流大会を開催しました。

大会では、静岡県経済産業部水産振興課 高瀬課長、県漁連 荒川会長が主催者挨拶を述べ、審査員、来賓紹介の後、以下の発表が行われました。

<実績活動発表>

- ① 「ピンチをチャンスに変えた機械化の取組 ～養殖の労働力不足を補う機械や施設の自作～」
有限会社 柴崎養鱒場 加藤正利さん
- ② 「いけすや繁盛記 ～漁業の未来はチーム I K S の力で！～」
内浦漁業協同組合チーム I K S 土屋真美さん
県水産技術研究所情報提供 「キンメダイを増やす」
静岡県水産技術研究所 深層水科 中村永介さん

会場では審査が行われている間、県立焼津水産高等学校 海洋科学科 池谷蒼太さん、秋山大河さんが「絶滅危惧種ヤリタナゴの繁殖について」と題し、研究成果を披露しました。

審査は、審査員7名（審査委員長：増元英人県水技研所長）により厳正に行われた結果、「いけすや繁盛記 ～漁業の未来はチーム I K S の力で～」と題し、漁協直営食堂『いけすや』の開業や誘客、日本一の養殖まあじの情報発信などを地元のお母さん達で結成したチーム I K S のメンバーを中心に漁協役職員、漁業者、行政が一体となり取組んだ地域活性化に向けた幅広い活動が評価され、内浦漁業協同組合「チーム I K S」土屋真美さんが、最優秀賞（県知事賞）を受賞しました。

なお、最優秀賞を受賞した内浦漁業協同組合チーム I K S 土屋真美さんと有限会社 柴崎養鱒場 加藤正利さんの発表内容は、3月1日、2日に東京にて開催される全国大会に県代表として推薦されました。

3. 「フォーマルパールフェア」開催のお知らせ

—県漁連資材課—

県漁連は、全漁連、愛媛県漁連の協力により、1月27日（金）～1月29日（日）の3日間、静岡中央ビル（県水産会館）5階大会議室を会場に「フォーマルパールフェア」を開催します。会場では、日本有数の真珠生産地である愛媛県宇和島産の厳選された真珠製品の展示・販売と二宮三己（ジュエリーデザイナー）コレクションを同時開催いたします。

皆様、是非ともお誘い合せのうえ、多数ご来場頂きますようご案内します。

◇開催日 平成29年1月27日（金）～平成29年1月29日（日）

◇開催時間 午前10時～午後6時 *最終日は午後5時迄

◇会場 静岡中央ビル（県水産会館）5階大会議室

◇問い合わせ 静岡県漁連購買部資材課 TEL：054-252-5154

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう